

# 上郡森林体験の森

面積：33ha



山林の再生、管理を目的とするだけでなく、保健、文化、教育的な面も併せて発揮できる利用に適応した整備を行うことにより、町民が身近な自然の中で自然観察や、木工細工などの多様な活動を行う「共同作業のフィールド」を目指しています。また、県下森林ボランティアの誘導などを行い、一般参加者との交流による林業作業体験会などの拠点として活用します。

## 2つのゾーンを整備

ピュアランド山の里周辺から山頂の高嶺神社までの林内に歩道（作業道）が巡り、この森林を、モミ、シイなどの巨樹が観察できる「千年の森ゾーン」や、ヒノキ林の「林業体験の森ゾーン」などを含む「森林体験ゾーン」（20ha）としています。また、トイレ付の作業場を要所2カ所に設置しています。

市街地が一望できる前山山頂には休憩所を整備し、

## ～上郡森林体験の森でのマナー～

- タバコの吸いがらやゴミの投げ捨て、たき火はやめましょう。
- 樹木や草花を大切にしましょう。
- ワークハウスなどの施設は大切に利用しましょう。
- ワークハウスの利用を希望される団体、林業アドバイザー等に興味のある方は…
- 産業振興課 商工観光係 ☎52-1116までご連絡下さい。

また、今後この事業を進めるにあたっては、林業教室等の指導者、林業経験者などのアドバイザー的な役割を務めていただける方が必要となります。経験者、興味を持たれた方の連絡をお待ちしています。

コナラ、ソヨゴなどの昆虫や野鳥が好む樹木を活かした「里山ゾーン」（13ha）としています。

## 今後の活用について

事業としては、これから種団体の「ワークハウス（作業場）」などの活用や、森林浴、樹木や野鳥の観察、体力づくりなど、個々の活動の場に活用するのもよいでしょう。



今年3月、山野里の高嶺山北西部斜面と、大池に隣接する前山に、上郡町が森林空間整備事業により「上郡森林体験の森」を整備しました。

かつては「山仕事」といって、山の樹木を伐採して木炭やマキに利用し、山林は生活に欠かせない存在でした。しかし今、その利用

がなくなり山林を管理する作業をしなくなつたため、山林は放置され松枯れなどの荒廃が進み、結果としてますます人が立ち入れない状態になりつつあります。

このような状況の山林が増える一方で、都市の過密化の進行などに伴い、心身をリフレッシュする場や健康増進の場として山林を活用したいというニーズが高まっています。

この「森林空間総合整備事業」は、林内作業による

## 『上郡森林体験の森』整備

